

# 陸の孤島と化した施設が 備えと工夫で危機を乗り越える！

台風15号により被災された特別養護老人ホーム市原園  
— 被災時の対応と今後の課題 —

2019年9月に発生した台風15号は、関東地方を直撃し甚大な被害をもたらしました。特に千葉県では広範囲で長期にわたる停電や断水が発生し、多くの病院や介護施設でもライフラインが断たれました。

千葉県中央部の山間部にある特別養護老人ホーム市原園も台風15号により停電や断水の被害を受けましたが、災害に対する事前の備えと栄養補助食品の活用により入所者さんの健康状態を維持することが出来たとのこと。今回の被災により感じた課題や苦労したこと、今後の災害対策等について市原園スタッフの皆さんにお話を伺いました。



↑左から小沢明栄養士、高橋博人施設長、グループ施設である軽費老人ホーム 深泉荘の吉川富貴子施設長

## ● 電気・水道・道路・通信が途絶える

記録的な暴風により、当園周辺の電柱や鉄塔が倒壊し、地区全域で**停電**が発生しました。当園の周辺は山間部であり、台風による倒木が倒壊現場への道を塞いでしまったために復旧が遅れ、**約1週間の停電**となり**電話も繋がりませんでした**。加えて当地区では**断水**にもなりましたが、当園は井戸水を使用していることから断水の影響は幸いにもありませんでした。また当園に繋がる道路にも木が倒れ、一時完全に通行止めとなり、施設は「**陸の孤島**」となりました。



↑施設は山間部にあり、「陸の孤島」と化した。



↑倒木で寸断された周辺の道路



↑暴風により倒された市原園の「エアコン室外機」。

## ● 非常用発電装置が危機を救う

当園では、2011年の3.11東日本大震災後の計画停電の際に、厨房でご飯を炊けず、食事の提供に苦労した経験から「非常用発電装置」を設置しておりました。そのため、ガスや水道を止めること無く厨房での調理ができたことから、被災当日より**約1週間分**備蓄していた食材を使用し毎日1日**3食提供**することができました。フードカッターも使用できたため、嚥下困難者に対する食事にも対応できました。

9月 8日	台風15号の暴風雨により、未明に停電発生。
9月 9日	倒木により道路が通行止め。
9月 10日	備蓄食材や栄養補助食品の在庫がひっ迫。
9月 11日	道路が通行可能となる。
9月 12日	業者による納品再開。
9月 14日	東北電力から「高圧応急電源車」が到着。発電開始。
9月 15日	地区の停電復旧。行政からの災害支援物資到着。
9月 16日	デイサービス営業再開。電源車稼働終了。

## ● 1日3食提供を続け体調維持に努める

非常用発電装置の電力が限られていたため、エアコンを使用することができず、残暑も重なり、発熱などの体調を崩された方や、非常事態を察知して不穏になられた方が数名いました。ただ3食提供できたこと、食欲不振の方には**栄養補助食品**や**経口補水液を積極的に利用**したことで入所者さんの食生活の乱れを防ぐことができ、栄養不足による体調不良者はいませんでした。

## ● 栄養補助食品でしっかり対応

当園では食事量を十分に食べられない方や栄養不足の方に**日頃から流動食やスパウト容器タイプのゼリーなどの栄養補助食品**を提供しています。使用される方が急に増えても対応できるよう普段から多めに発注をしていたため、被災時でも普段通りに使用することができ、入所者さんの健康状態を維持することができました。味が美味しいため、普段は常食を召し上がっている方でも食欲がない場合に提供したり、おやつ代わりとしても利用しました。ただ、納品業者に連絡ができず、追加発注ができなかったこともあり、在庫がひっ迫する状況になりました。

## 【災害時を考慮した備蓄食】



## ● 災害に備える新たな一手を！

今回の経験から**災害に備える重要性**を痛感しました。非常発電装置を設置していたこと、1週間分の食材を備蓄していたことで通常通りの食事を提供できたことは、入所者さんやスタッフの健康維持にとって重要であったと感じています。また、**少量で栄養補給が可能である栄養補助食品の備蓄の重要性**も感じました。特に**スパウト容器タイプのゼリー**は、嚥下困難者にも対応しやすく、また食器を使用しなくても摂取可能であることから利便性の高さを感じました。そのため、当園では経済面や保管スペースを考慮して栄養補助食品の**ローリングストック方式の導入**を検討していきたいと考えています。

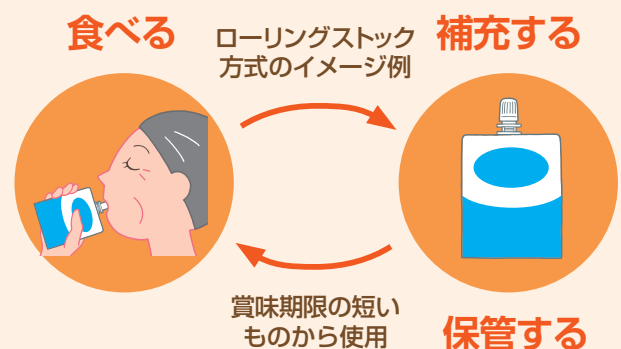
今回は、台風というある程度予測ができた中での対応でしたが、地震や火災など**突発的な災害**も全国で頻発しています。そうした時にも対応できるよう、**いつでも備えや対策を怠らない**ようにすることが重要だと考えています。



## POINT! 【ローリングストック方式】

日常の買い置きを意図的に少し多めに用意し、消費と購入を繰り返すことで、食品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食事提供を可能にすること。日常の中に備蓄用食品を取り込むという考え方。

- 賞味期限の短いものから使用する
- 使用した分は、補充を怠らない



## 社会福祉法人昭和村 特別養護老人ホーム 市原園

社会福祉法人昭和村は、介護老人福祉施設、軽費老人ホーム、短期入所生活介護、通所介護等を複合的に運営しています。特別養護老人ホーム 市原園はじめ入所者さんへの食事提供は日々150名におよび、ミキサー食や刻み食で対応する嚥下困難な方は30名近くいらっしゃいます。